

# ふーぬ風

発行 〒901-1115  
沖縄県南部農業改良普及センター  
TEL:098-889-3515  
FAX:098-835-6010

## 南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では、「沖縄21世紀ビジョン基本計画及び実施計画」、「沖縄21世紀農林水産業振興計画」等に基づき、各種施策を選択的かつ集中的に実施し、成果目標の達成に向け取り組みを強化してきたところであります。

南部農業改良普及センター管内では、各種施策の推進と普及事業の積極的な取り組みにより、地下ダムの整備をはじめ農地及び施設等の整備、農業機械の導入など生産基盤は充実しつつあり、野菜、熱帯果樹、さとうきび、養豚、鶏、乳用牛、肉用牛、花き、かんしょ等の生産振興も図られ、これらの農畜産物を柱に拠点産地の形成拡大やブランド化など、地域特性を活かした生産活動が多様に展開され、地域経済に大きく貢献しているところです。

このような中、管内の農業においては、担い手の育成確保や栽培技術の高位平準化、生産・出荷体制の強化、生産コストの削減、農作業の省力化、環境に配慮した農業生産の実現、農地流動化による規模拡大、防災農業の確立など、今なお多くの課題を抱えております。

このような状況を踏まえ、平成30年度は下記の4課題を普及計画の柱とし、直接農業者に接して技術・経営支援などの普及活動を重点的に展開します。



南部農業改良普及センター  
所長

宮里 太

### 1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

### 2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

### 3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマー等の育成、施肥の適正化、農業の適正使用、食の安全・安心の確保、農業生産工程管理(GAP)の実践などの取り組みを支援します。

### 4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業家等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これらの課題解決にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆様には今後とも農業改良普及事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

## 平成30年度 南部農業改良普及センター活動体制

### 普及企画班

班長 根路銘 利加  
主幹 儀間 靖

### 地域特産振興班

班長 宮城 聡

### 園芸技術普及班

班長 屋宜 美智子

### 離島駐在

地域調整	.....	根路銘利加		
地域営農	.....	長浜隆市		
担い手	.....	儀間靖	玉城亜矢子	新里亜希子
農業経営	.....	豊里麻子		
庶務	.....	新垣夏代	今井和美	
特産物	.....	宮城聡	屋良久美子	長谷智宏(屋嘉比仁美)
工芸作物	.....	伊良皆ゆかり(小橋川隆一)		
作物	.....	前田藍	新里良章	
畜産	.....	細井伸浩	三塩志麻	
野菜	.....	屋宜美智子	新里寿順	新崎千江美
		根間光里(儀間達海)		
果樹	.....	大石彩子	下地聡子	
花き	.....	中村悟之	佐久本盛壮	
久米島町	.....	西田公一		
南大東村	.....	当真央		
北大東村	.....	與儀		

所長  
宮里 太

( )は臨任職員



# 土壌消毒による安定生産を目指して

## 太陽熱土壌消毒

同じ作物を栽培することの多いほ場では、連作障害対策として太陽熱土壌消毒を行うことをおすすめします。



- ①前作の片付けをし、土壌を耕耘・碎土、堆肥(2~3t/10a)を投入する。  
米ぬか・石灰窒素を利用する場合は、このときに行う。
- ②ほ場全体にたっぷりかん水する(30~50t / 10a)
- ③透明ビニールではほ場全体を被覆し、約30日以上おく。

ビニール端まできちんと張って、めくれないように固定する

ビニールの下にかん水チューブを通す際は、ビニール被覆後にかん水する。この場合は耐熱性のチューブを使用する。

### 太陽熱土壌消毒を効果的に行うために…

- ・土壌消毒期間は、日照量の多い7月(梅雨明け後)~9月の高温期に行いましょう。
- ・太陽熱土壌消毒の効果は表層から約30cm程度なので、消毒後には深耕しないようにしましょう。
- ・水は、土壌深くに熱を伝える役割を担います。水をたっぷりまきましょう。

## 薬剤を用いた土壌消毒

太陽熱消毒の他に、薬剤による消毒方法もあります。前作で病害が多発したほ場では、薬剤を使って消毒をした方が確実です。薬剤には様々な種類があり、効果や適用もそれぞれ異なるため、目的に応じた薬剤を選択し、使用してください(下記参照)。\*ラベルをよく読み、適用に従って使用してください。

種類	薬剤名	使用目的
MITC	ガスタード微粒、バスアミド微粒	主に土壌病害や殺草に使用。
D-D	D-D、DC油剤テロン	主に線虫防除に使用。
クロールピクリン	クロピク80	主に土壌病害防除に使用。

### ~MITC(バスアミド等)の使用手順~

- ①前準備 残渣は除去。碎土は丁寧に(塊が多いとガスが抜けやすく効きにくい)。
- ②土壌水分 軽く握って崩れない程度になるよう調整。
- ③散布と混和 薬剤を均一になるよう散布し、作土層をロータリーで混和。
- ④散水 再度土壌水分を確認し、足りないようであれば適宜散水。
- ⑤被覆 ビニールで被覆し、ガスが抜けないように密封する。
- ⑥被覆期間 地温が25℃以上の場合、被覆期間の目安は7~10日。
- ⑦ガス抜き 7~10日後に耕起し1回目のガス抜き、その2~3日後に2回目のガス抜き。
- ⑧発芽テスト(残留ガス確認) 2回目ガス抜き7~10日後に、土を少量密閉容器に入れ、コマツナやカラシナ等の種子をまいて室温で管理し、発芽を確認。

(園芸技術普及班 新崎千江美・中村悟之)

# いよいよ本格的な夏到来！ ハウスの暑さ対策出来ていますか？

梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏到来！気温の上昇とともにハウス内の温度も急上昇します。夏場の強い日差しや高温により、ハウス内の植物もいろいろな影響を受けます。対策をしっかり行い、ハウス内の樹や果実を暑さから守りましょう。

## ~暑さの影響は品目によってさまざま~

マンゴーでは、直射日光による葉焼け(写真1)や果実の日焼け(写真2)、ハウス内温度の上昇による果実の肥大不足(写真3)や果実の果肉崩壊(写真4)などが見られます。また、パッションフルーツでは果実の青落ち(写真5)、スターフルーツでは、特に暑さに耐性のない幼木の枯死(写真6)などの症状が見られます。



写真1 日焼け①(マンゴーの葉)



写真2 日焼け②(マンゴーの果実)



写真3 果実の肥大不足



写真4 果実の果肉崩壊(マンゴー)



写真5 パッションフルーツ果実の青落ち



写真6 スターフルーツ幼木の枯死(施設内50度越え!)

## ~対策~

1. 換気と灌水(写真7)・・・施設のネット目合いを粗くするのもおすすめ(目合2mm以上推奨)！
2. 遮光ネットの設置(写真8)・・・ハウス外側屋根面設置がおすすめ！
3. 袋かけ・傘かけ(マンゴー)(写真9)・・・袋の端をカットして通風を良好に！



写真7 側窓ネット(2 × 6mm)

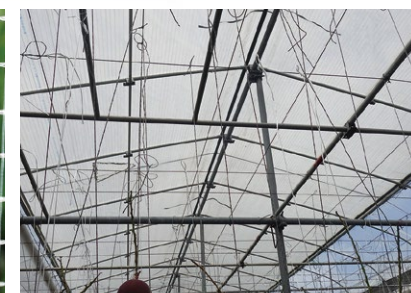


写真8 遮光ネット



写真9 袋かけ

(園芸技術普及班 下地聡子・大石彩子)



# 第42回沖縄県さとうきび競作会表彰式 沖縄県知事賞受賞!



\*前列左から3番目が波平氏

平成29/30年期中に収穫されたさとうきびを対象として行われたさとうきび競作会において、糸満市の波平一男氏が沖縄県知事賞を受賞しました。今回の出品は農林21号の春植、甘蔗糖重量2,980kg/10a、蔗茎重量12,520kg/10aでした。波平氏は専業農家として40年の実績があり、6年前からさとうきび栽培に取り組み、現在、さとうきびの栽培面積は142aで、単収向上に向けて、適期の肥培管理、積極的なかん水、補植などに努めています。南部地区の表彰結果は以下の通り

### 【農家の部】

沖縄県知事賞	波平 一男	糸満市	甘蔗糖重量2,980kg/10a 蔗茎重量12,520kg/10a 甘蔗糖度14.4度 品種:農林21号春植
沖縄県糖業振興協会 理事長賞	比嘉 正行	糸満市	甘蔗糖重量2,922kg/10a 蔗茎重量12,820kg/10a 甘蔗糖度14.6度 品種:農林21号株出

### 【多量生産の部】

#### 《農家の部》

沖縄県農林水産部長賞	仲地 功	南大東村	生産量779,402kg 甘蔗糖度13.9度
------------	------	------	------------------------

#### 《生産法人の部》

沖縄県農林水産部長賞	農業生産法人 (有)あらかきファーム	久米島町	生産量783,000kg 甘蔗糖度14.2度
------------	-----------------------	------	------------------------

# 大切な食品表示について(加工品編)

食品加工をはじめた農家のみなさんは、「食品表示法」の法律を守り正しい表示をする義務があります。正しい知識で、適正な表示をしましょう。

直近の基準改正により、アレルギー表示の変更や栄養成分表示が義務化され、平成32年4月から新しい表示基準でスタートします。また、平成34年4月からは原料原産地表示が必要となるため、正しい表示がされていない食品は販売できなくなります。経過措置期間中の今、計画的に表示の切り替えを行ってください。

## 2 「原材料名」

- (1) 添加物以外の原材料
  - ア 全ての原材料を重量の多い順に記載
  - イ 複合原材料(2種類以上からなる原材料)は( )書きでその内容を記載
- (2) アレルギー表示は量に関係なく表示
- (3) 1番多い原材料に産地が必要
  - ア 生鮮品の場合は産地(国産、アメリカ産)
  - イ 加工食品の場合は製造地(ベルギー製造)

## 3 「添加物」

添加物に占める重量の割合の高い順に記載

## 4 「内容量」

内容重量(g, kg)か、内容体積(ml, l)か、内容数量(個、袋)を記載

## 5 「消費期限」又は「賞味期限」

品質が急速に劣化する食品には「消費期限」それ以外には「賞味期限」  
(1) 期限が3ヶ月以内のものは年月日表示  
(2) 期限が3ヶ月を超えるものは年月で可

## 6 「保存方法」

開封前の保存方法を表示  
※開封後の保存方法は枠外に記載

## 7 「製造者」、「販売者」など

表示内容に責任を持つものの氏名 又は、名称及び住所を表示  
※製造者と販売者が同一であれば、販売者は省略可

## 1 「名称」

一般的な名称を表示  
※方言ではなく和名で記載

(例) 香るスイーツ! マンゴージャム

名 称	マンゴージャム
原 材 料 名	マンゴー(沖縄県産)、砂糖
添 加 物	ゲル化剤(ペクチン:りんご由来)
内 容 量	150g
賞 味 期 限	△年△月△日
保 存 方 法	直射日光と高温多湿を避けて常温保存して下さい
製 造 者	○加工所(法人格のない場合は代表名も)沖縄県○○市○○

開封後は、10℃以下で保存して下さい

栄養成分表示 100g当たり	
熱 量 ○○kcal	炭水化物 □□g
たんぱく質 △△g	食塩相当量 ☆☆g
脂 質 ◇◇g	

## 8 「栄養成分表示」が義務化

熱量、たんぱく質、脂質、炭水化物、食塩相当量の5成分を表示

## ○アレルギー表示

食品の原材料及び添加物に、アレルギーの原因となる食品(特定原材料等)が含まれている場合は表示が必要です。

【義務】特定原材料7品目(えび、かに、卵、乳、小麦、そば、落花生)



## 南部地区農業青年クラブ連絡協議会 ～定期総会の開催～

平成30年度南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が5月18日(金)に南部普及センターで開催され、クラブ会員21人と関係機関が集まる中、全ての議案が承認されました。

新会長となった友利克也氏(南城市農業青年クラブ)からは、「不慣れではありますが、一生懸命頑張ります。皆さんの協力をよろしくお願いいたします。」とあいさつがあり、今後の抱負と会員への活動参加を呼びかけた。

今年度は研修会、先進地農家視察等の計画があり会員の期待が高まっています。



定期総会の様子

### 新役員紹介



会長:友利克也氏  
(南城市農業青年クラブ)



副会長:與儀美奈子氏  
(糸満市農業青年クラブ)



事務局長:大城義明氏  
(八重瀬ファーマーズクラブ)



理事:城間悠司氏  
(南風原町農業青年クラブ)



## 平成30年度 おもな活動計画

年 月	内 容	場 所
H30年6月	土壌分析の実施	普及センター
	就農支援講座受講生との意見交換(新規会員加入促進)	農業研究センター
7月	土づくり研修会(4年目)	普及センター
	リーダー研修会	
	県外視察(九州大会と抱き合せ)	長崎県
8月	仲間づくりスポーツ交流会	南部管内
10月	沖縄県青年農業者会議・リーダー研修会	未定
11~12月	先進地農家視察、クラブ会員ほ場視察	南部管内
12月	リーダー研修会	未定
H31年1月	地域担い手ほ場現地検討会(農でグッジョブ推進会議と共催)	南部管内
2~3月	農産物販売活動	南部管内
5月	平成31年度定期総会、研修会	普及センター
隔 月	地区連役員会	普及センター



上記写真はH29年度の活動状況です。

**クラブ員募集中**  
興味のある方、お気軽にお問い合わせください

(普及企画班 玉城亜矢子)

## 離島情報 久米島

### (1) さとうきび生産実績について

今期のさとうきびは、生育初期は分けつも良く比較的順調でしたが、梅雨明け後の干ばつと一部ほ場でバッタによる食害を受け生育が阻害されました。また、9月に襲来した台風18号の被害により折損、倒伏、一部ほ場で葉片裂傷があり、その後も、10月に台風21号、22号が連続して襲来し塩害等で生育停滞がありました。

このような条件の中で、平年値 44,000tの計画を上回る 50,565tの結果となりましたが、収穫面積が約11ha 減少したこともあり、昨年を約 4,600t下回る結果となっています(表1)。

品質は、台風被害による葉片裂傷、塩害の影響で登熟が遅れたために、搬入当初の買入糖度は13度前半で推移し、最終的に 13.79度の実績で歩留まりは11.04%と昨年を0.3%下回る結果となっています。

表1. H29/30年期製糖実績

作型	面積(a)	単収(kg)	生産量(t)
夏植え	16,785	7,366	12,363
春植え	6,904	5,433	3,751
株出	65,823	5,234	34,451
合計	89,514	6,087	50,565

資料:久米島製糖株式会社より

### (2) さとうきび機械収穫について

今期のハーベスタによる機械収穫量は、20,135tでしたが、比較的、さとうきびが倒伏しておらず、手刈り作業が容易なこともあり、全体の搬入量に対する機械収穫量の割合は39.8%と依然として低い傾向にあります(表2)。

来期は、8台のハーベスタの導入計画があり、引き続き、関係機関と連携し、機械収穫作業に向けた取組みを支援します。

表2. H29/30年期原料の収穫区分

項 目	搬入台数(台)	搬入量(t)	比率(%)	トラッシュ率(%)
手刈り原料	5,431	24,894	49.2	0.83
無・粗脱葉原料	1,311	5,536	10.9	5.74
ハーベスタ原料	4,574	20,135	39.8	15.94
総搬入量	11,316	50,565	100	7.95

資料:久米島製糖株式会社より

### (3) ビレットプランター実証試験について

さとうきび栽培では、収穫作業に次ぐ重労働作業として植付作業がありますが、本町では、高齢化に伴い、採苗、調苗作業をとおし植付作業が困難で、年々、収穫面積は減少しています。

そこで、鹿児島県と沖縄県農業研究センターで、ハーベスタで裁断した種苗を活用して植付作業を行うビレットプランター(写真1)の実証試験が行われ、植付作業の省力化に向け取り組んでいます。昨年、8月に開催した夏植え推進大会では、生産者や関係者等でビレットプランターの実演会等をとおし、植付作業や苗の投入量等を確認しました(写真2)。



写真1 ビレットプランター



写真2 夏植え推進大会

その後の発芽状況は、一部欠株も見られますが、ほぼ発芽している状況です(写真3)。

今年は、生産法人等と協力し春植えでのビレットプランターの作業負担面積と、夏植えで実施した作業負担面積を併せた平均的な作業負担面積や植付後の生育状況について調査を予定しています。



写真3 発芽状況

(久米島駐在 西田公一)



## 「新規就農相談日」&「制度資金相談日」をはじめました

- 相談対象の方:南部農業改良普及センター管内(14市町村)において就農を希望する方、もしくは農業を営んでいる方。
- 相談のある方は事前にお電話にて相談日の予約と相談カード(相談票)の記入をお願いします。
- 相談カード(相談票)は南部農業改良普及センターのホームページよりダウンロードしていただくか、もしくはFAX送付します。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/nokai-nan/index.html>

事前に相談カードの記入が出来ない方は相談当日、はじめにご記入をお願いします。

### ◆ 新規就農相談日について ◆

月1回、火曜日を基本として相談日を設けました。今年度の開催予定日は以下のとおりですが、台風や業務の都合上、日程が変更となる場合があります。

#### 年間の予定日

6/19、7/17、9/18、10/23、11/20  
H31年1/22、2/19  
1件1時間程度となります。

担当(儀間)まで電話予約してください。  
事前に『新規就農相談カード』に記入作成し当日ご持参ください。

(普及企画班 儀間靖)

### ◆ 制度資金相談日について ◆

月2~3回、水曜日を基本として相談日を設けました。  
今年度の開催予定日はホームページまたはお電話でご確認下さい。

#### 8月までの予定日

6/13、6/27、7/11、7/18、8/1、8/15、  
8/29、9/5、9/13、9/19  
1件2時間以内となります。

担当(豊里)まで電話予約してください。  
事前に『資金計画相談票』に記入作成し、決算書や見積書等、参考資料も併せて当日ご持参ください。

(普及企画班 豊里麻子)

## 定期人事異動

### ◆ 転入者 ◆ ( )は前職場名

#### 【地域特産振興班】

宮城 聡(宮古農業改良普及課班長)  
新里 良章(再)(農業研究センター所長)  
前田 藍(中部農業改良普及センター)  
小橋川隆一(臨任)

#### 【普及企画班】

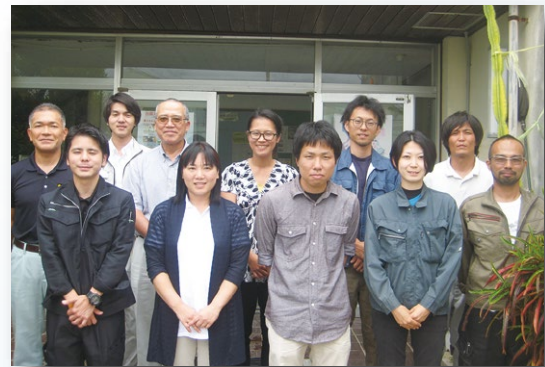
玉城亜矢子(北部農業改良普及課)  
長浜 隆市(北部農業改良普及課)

#### 【園芸技術普及班】

新里 寿順(北部農業改良普及課)  
中村 悟之(農業大学校)  
新崎千江美(宮古農業改良普及課)、佐久本盛壮(新採用)、儀間 達海(臨任)

### ◆ 転出者 ◆ ( )は異動先

山口 悟(北部農業改良普及課班長)、仲本 優子(営農支援課)  
當間ひろの(農業研究センター)、安藤さやか(病害虫防除技術センター)  
崎山 澄寿(中部農業改良普及センター)、友利 研一(農業大学校)  
安次富由乃(八重山農業改良普及課)、玉城 優太(八重山農業改良普及課)



4月に転入したメンバーです。  
これからもよろしくお願いします。